

カウンセリング

2024年



シジュウカラ

[抄録]

自殺と自殺に傾く人への正しい理解と対応

札幌医科大学医学部 神経精神医学講座 主任教授 河西 千秋 氏

「犯罪被害者と隣人」～新聞記者である自分と被害者に近い自分～

毎日新聞 東京本社 記者 川名 壮志 氏

Vol. 175

北海道公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

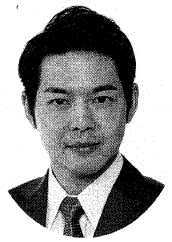
公益社団法人 北海道家庭生活総合カウンセリングセンター

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2西7かでのる2・7

TEL 011-251-6408

<http://www.counseling.or.jp>

FAX 011-271-5068



北海道知事

鈴木直道

新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

北海道家庭生活総合カウンセリングセンターの皆様におかれましては、日頃から、家庭生活に関わる様々な相談対応をはじめ、犯罪被害に遭われた方やそ

ご家族への支援活動に多大なご尽力をいただいております。ことに、深く感謝申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が活発化する一方、物価高騰の影響が長期化する中、道

では、価格高騰等経済対策を講じるなど総力を挙げて道民の皆様

の暮らしを守る取組を進めるとともに、刑法犯認知件数が増加していることから、女性や子ども、高齢者の皆様に対する注

意喚起を重点的に行い、犯罪被害防止にも努めてまいりました。

新しい年においても、「北海道犯罪被害者等支援条例」のもと、安心して暮らすことのできる道民生活の実現に取り組み

まいるので、今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が、皆様にとりまして、実り多

祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



札幌市長

秋元克広

新年あけましておめでとうございませう。謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

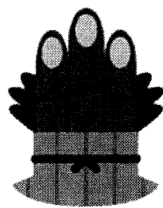
昨年四月の選挙において、多くの方々のご支持とご信託をいただき、引き続き市長として札幌市政を担わせていただくこと

になりました。三期目も目前の課題に迅速に対応するとともに、人口減少や脱炭素社会への対応

など、社会経済情勢の変化に対応しながら、札幌がより魅力的なまちであり続けるために全力で取り組んでまいります。

本年は、昨年一二月に策定しました中期実施計画に基づき、子育て支援の強化や脱炭素社会の実現をはじめとする多岐にわたる分野において、市民、企業

の皆様との対話を重ね、さまざま



年頭のご挨拶

(公社)北海道家庭生活総合
カウンセリングセンター

理事長 吉野 淳一



慎んで新年のお慶びを申し上げます。昨年私は3年間のブランクを経て、学生たちの病院実習での指導を再開しました。4年ぶりの病院臨床で

したが、その理由は、ひとえに新型コロナウイルスの大流行でした。

慎んで新年のお慶びを申し上げます。昨年私は3年間のブランクを経て、学生たちの病院実習での指導を再開しました。4年ぶりの病院臨床で

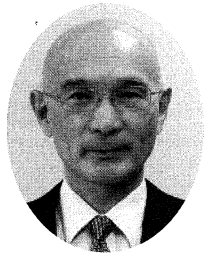
したが、その理由は、ひとえに新型コロナウイルスの大流行でした。

そのような感染症によって、人が疎遠になるということ、人材養成の場面にとどまらず想像以上に多方面に深刻な影響をもたらしたのだらうと思

います。

人と人との関係が持ちにくくなってしまうのは、感染症のような生物学的な脅威だけでは

ありません。昨年後半く



北海道教育委員会

教育長 倉本博史

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

貴センターにおかれましては、日頃から健全な家庭づくりへの支援のため、相談事業やカウンセラーの養成など、様々な活動に取り組みられておりますこと、心から感謝申し上げます。



札幌市教育委員会

教育長 檜田英樹

新年、明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

貴センターにおかれましては、日頃から札幌市の教育行政の推進に多大なる御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、近年では家族形態の容や地域社会のつながりの希薄化に加え、コロナ禍がもたら

このような中、家庭生活に關わる専門的な相談機能を持つ貴センターの活動は、ますます重要な役割を果たすものと期待しております。

道教委といたしましても、地域人材を積極的に活用し、地域全体で家庭教育を支援する体制づくりを進めるなど、家庭教育支援の充実に努めて参りますので、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして明るく希望に満ちた年になりますことを御祈念申し上げます。御挨拶といたします。



護者等が家庭教育について継続的に学び、交流する機会を提供するとともに、ウェブサイトに「さっぽろ家庭教育ナビ」による情報発信を行い、安心して家庭教育を行えるよう支援して参ります。

どうか本年も、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げますとともに、貴センターの一層の御発展を心からお祈り申し上げます。

カウンセリングセンター
講師リレーエッセイ

VOL.6

【おめでたい私】

講師 芦澤 健
(千歳病院 院長)



新春です。おめでたい話をしましょう。それは、私です。

「あぐめでたし、めでたし」。COVID-19蔓延で客のいなくなったカラオケ屋の株をチャンス到来と購入したところ、COVIDは落ち着き、株価は爆上げ、株主優待の金券を毎年送られてくるようになりました。

「あぐめでたし、めでたし」。一緒に行く人がいないので、一人カラオケに行くようになりました。かつて先輩に連れられたカラオケスナックに行っていたころ、歌える歌がなく、下手で大嫌いでしたが、はまりました。週一回くらいの頻度で一人カラオケに行くようになり、とうと

うダイヤモンド会員です。「あぐめでたし、めでたし」。そういう中で私とたまにカラオケに行く人が出てきました。随分とうまくなったと言われると、うれしくて、うれしくて。：。「あぐめでたし、めでたし」。

私の勤める病院でカラオケの作業療法があります。私の外来診療の時間でない時間帯に週2回ほど参加するようになりました。患者も私も喜び、私は多くの人の前で歌う喜びを感じ：。「あぐめでたし、めでたし」。

だったので、カラオケの作業療法は、私の外来診療時間にかぶるようになりました。ずらされたのでしょうか。私がおめでたいのでしょうか。それでも私には歌がある。一人カラオケをし、人前で歌うことを夢見ています。「あぐめでたし、めでたし」。

最近、とうとうハイトーンで超難曲のMrs. Green Appleの曲にチャレンジ、還暦過ぎの私がチャレンジするとは、何と素晴らしいことか。歌えないかもしれないし、奇跡は起こるかも：。「あぐめでたし、めでたし」。

自殺と自殺に傾く人への正しい理解と対応

札幌医科大学医学部 神経精神医学講座

主任教授 河西 千秋 氏

2023年9月19日 かでるアスビックホール

【日本の自殺問題と国の対応】
最近のメンタルヘルス問題はもっぱら新型コロナウイルス問題で2020年の2月から感染が拡大し、社会活動が停滞して生活の糧を失った方が大量に発生し、親が苦境に陥ったことで学業を中退せざるを得なくなった学生もたくさん発生しました。結局、2020年は10年ぶりに自殺が増加しました。それぐらいメンタルヘルス問題が大きかったということの意味していると思います。

そもそも日本の自殺はどうなっているかというと、1997年から98年の1年間で自殺が増えています。絶対に潰れるはずがないという名だたる金融機関が潰れた年で、当時、歴史上最も大型倒産件数が多かったのが、1997年です。それで、その翌年に自殺が増えました。それまで2万人台だった自殺者数は1998年に3万人を超え、その後14年間、3万人超えという時代が続きました。さすがにこの事態はまずいということになり、2006年に「自殺対策基本法」という法律ができ、その翌年には「自殺総合対策大綱」ができ、国の方針が定ま

りました。この法律の理念で一番大事なのは「社会的取り組みで自殺に対処する」ということです。昔は自殺というのは個人的な問題だからしかたがないとか、本人自身の責任だとか、家族を残して自殺するなんて無責任などと言われがちだったかと思いますが。しかし、そうではなくて、自殺は社会的な問題で、人が自殺するのは社会的に追い詰められた結果だという自殺問題の本質を提示し、自殺問題に社会的な取り組みで対応すべしと明言したのです。そこには、自殺対策の担い手についても明記されています。国だけではなく、北海道、札幌市などの地方公共団体にも責務があるとはっきり書かれています。その後、2010年から10年続けて自殺が漸減し、3万5千人近くまで増加した自殺者数は2万人を切るかどうかというところまでいきました。けれども、この新型コロナウイルス問題で自殺者数が10年ぶりに増えてしまいました。そして、今回のこの増加は若者と女性に顕著でした。

【日本人の死因】

自殺は日本人の10代から30代

の死因の1位、40代で2位、50代前半においては3位に位置づけられています。長寿国日本で長生きできない方の大半はこうして亡くなっています。色々な国と比べてみると、30代までの若者の自殺率は日本と韓国がダントツに高く、200の国と地域の全てを合わせて見ても、日本の自殺率は最悪水準です。男性は10数位で、女性は最新のデータでは世界のワースト2位です。



そして、私が着目しているのは、高齢者の方々の自殺です。元々高齢者の自殺は全体の3割ほどあって、60歳以上だと全体の3分の1以上を占めています。超高齢化率がずっと続く中で、

高齢者の人口が増えて自殺が拡大していくのではないかと危惧しています。果たしてこの国で、年をとっても安心して暮らせるのでしょうか。親の世代を見ていて、私自身は疑問に思います。今、全体的な状況は見ていたいただきましたが、北海道は去年自殺された方が960人です。1日に2名ないし3名の方が亡くなられているという計算になります。予て北海道の自殺率は、47都道府県の中で大体10位前後、つまり、北海道は自殺が多いところですよ。それはどうしてなのでしょう。そのことを知っているのは道民である皆さんであり、皆さん自身に問うていただきたいと思います。

【自殺の危険因子】

自殺をした人のうち精神疾患にかかっていた人は98%です。この認識はすぐ大事で、精神疾患に罹患していなければ、自殺というのはいずれ起きないと言ってよいでしょう。例えば、自分が自殺をしてしまう状況を想像してくださいと言っても、ほとんどの人には難しいのではないのでしょうか。それくらい、通常であれば自殺は遠い世界の

ことで、自殺を実行してしまうということはかなり高いハードルを越えることになると思うのですが、そのハードルを低くしてしまふのが精神の病気なのです。精神の病気は、脳の機能を障害し、人は考える力が低下し、理解力も低下し、合理的な判断もできなくなってしまいます。限度を超えたストレスや悩みが続きと精神疾患を発症してしま

は、ただ単に癌と告知されたからとか、癌を知ったからではない、病気の受けとめ方や、その時の周囲の状況やサポートの在り方などにより、人によっては適応障害やうつ病に陥り、そのことで自殺のリスクが高まります。

実はこれらが最も強い危険因子なのです。逆に言えば、自殺未遂者等の次の自殺企図をブロックすることが、自殺を予防するために重要だということになります。現代では自殺未遂者の自殺再企図防止というのが、自殺予防対策の重要課題の一つとされています。

仕方ないとは言えませんが、色々なデータを見れば、診断可能な精神の病気はほとんどが治療可能です。うつ病と立証されている患者であれば、90%以上の方は寛解といってほぼ治った状態になるか、改善します。だから、治せることがわかっているにも関わらず、自殺させてくださいと言われて、はいどうぞとは言えないのです。

未遂者の方がまた自殺企図を繰り返すことをある程度ブロックできることが証明されました。これはその後、診療報酬制度に取り入れられて日本の標準医療になりました。

います。追いつめられたような心境で、心が痛い、苦しい、しんどい状況になり、そこから抜け出したい、逃げ出したい、そのためには自殺をする以外にないという思考になっていきます。心が視野狭窄を起こして他が見えなくなってしまいます。本当は助かるような方法はたくさんあるし、助けて下さる人もいらっしやるはずなのが、もうそこに全然意識がいかなくなっ

自殺の動機となるものは何かと学生に聞くと、男女問題や人間関係、経済問題という方が多いですが、昨年の自殺の動機調査の1位は健康問題です。昨年だけでなくて、何年も前から健康問題は首位です。自殺のきっかけや入り口となるのは、経済問題や人間関係のことが少なくないと思います。最後は精神疾患に罹患し心身共に疲弊してしまい、生きていけないという気持ちになって自殺を決断してしまうことが多いようです。

【自殺する権利】
ここまでの話を踏まえて、皆さんは人には自殺をする権利があると思いますか。この質問をすると、人には権利が存在するから仕方ないという意見が出ます。一方で、親からもらった命だから自分で決めてはいけないという意見も多くあります。この問いかけは、実はなぜ自殺を防がなきゃならないのかということと密接に関わっています。私の答えは、これは自殺をする権利があるかどうか議論する以前の問題だということです。なぜなら、権利というのは、その方の心や脳の状態が健全な時に初めて判断できることだからです。先ほど、自殺者の98%が精神疾患にかかっていると言いましたが、そういう状態の中で自殺してしまいたいと言っても、

【自殺対策の実践活動・支援活動】
私は2014年までは横浜市立大学附属病院精神科に所属していたのですが、2002年に当時の仲間と一念発起して、自殺対策の仕事を始めることになりました。救命センターに搬送される重症の自殺未遂の方の自殺企図の動機や精神状態などの特徴をコトコト調べて、こういう患者さんたちをお助けできる支援モデルを作りました。3年ほどやったところで、厚生労働省から全国の病院で一律にやってみて、本当に効き目があるかどうかを証明してくださいと言われました。そこで、ACTIONJ研究という大規模な研究を全国の病院とともに行い、その結果、私どものモデルによって、自殺

次は、地域の自殺対策活動をなんとか普及していこうという話です。病院の中だけで一生懸命やるだけでは足りません。救命センターの医療者や研修医、学生にも自殺対策がいかに大事か教えないけません。また、結局、未遂者の方は地域に帰っていくわけですから、地域を耕さなければなりません。このように、私たちはあらゆる現場でできるだけのことをして、自殺対策を実践しています。

身体は、ただ単に癌と告知されたからとか、癌を知ったからではない、病気の受けとめ方や、その時の周囲の状況やサポートの在り方などにより、人によっては適応障害やうつ病に陥り、そのことで自殺のリスクが高まります。

【自殺する権利】
ここまでの話を踏まえて、皆さんは人には自殺をする権利があると思いますか。この質問をすると、人には権利が存在するから仕方ないという意見が出ます。一方で、親からもらった命だから自分で決めてはいけないという意見も多くあります。この問いかけは、実はなぜ自殺を防がなきゃならないのかということと密接に関わっています。私の答えは、これは自殺をする権利があるかどうか議論する以前の問題だということです。なぜなら、権利というのは、その方の心や脳の状態が健全な時に初めて判断できることだからです。先ほど、自殺者の98%が精神疾患にかかっていると言いましたが、そういう状態の中で自殺してしまいたいと言っても、

【自殺対策の実践活動・支援活動】
私は2014年までは横浜市立大学附属病院精神科に所属していたのですが、2002年に当時の仲間と一念発起して、自殺対策の仕事を始めることになりました。救命センターに搬送される重症の自殺未遂の方の自殺企図の動機や精神状態などの特徴をコトコト調べて、こういう患者さんたちをお助けできる支援モデルを作りました。3年ほどやったところで、厚生労働省から全国の病院で一律にやってみて、本当に効き目があるかどうかを証明してくださいと言われました。そこで、ACTIONJ研究という大規模な研究を全国の病院とともに行い、その結果、私どものモデルによって、自殺

【最後に】
今日は、自殺問題が日本社会にとって最重要課題になっていることをお伝えしました。自殺が起こらないような、安心で安全な地域づくりや、心の問題が一番大切なんだねという風土を育てていくことが自殺対策活動の本質です。地域の自殺対策はその地域の問題、そこに住む人の課題です。

特に癌がそうです。しかしそれ

自殺未遂も危険因子の一つで、

自殺未遂も危険因子の一つで、

自殺未遂も危険因子の一つで、

自殺未遂も危険因子の一つで、

「犯罪被害者と隣人」

～新聞記者である自分と被害者に近い自分～

毎日新聞 東京本社 記者

川名 壮志 氏

2023年10月20日 かでるアスピックホール

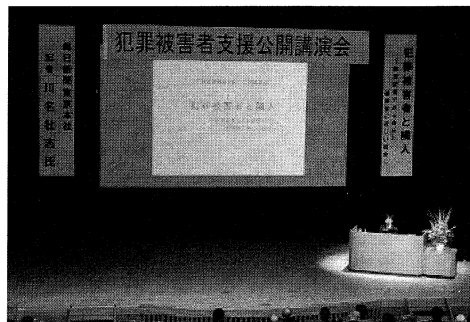
はじめまして。毎日新聞の記者の川名と申します。

最初の赴任地は長崎の佐世保でした。これから話すのは新聞記者の仕事に関わる一方で、ごく私的な話も重なります。ちょっと身近な話として聞いていただければありがたいなと思っております。

【事件当時の様子】

2004年の話です。当時記者4年目の僕、新人の記者、あと事務の女性の4人で支局を回してたんです。支局長は御手洗恭二さんと、20年目のベテランでした。奥さんを病気で亡くしていて、支局の3階で、中学3年生の息子と小学6年生の娘のさとみちゃんと3人で暮らしてたんです。仕事の合間に3階に上がって、子供のために飯を作る。その飯と一緒に食べさせてもらったりして、食卓を囲んでいた。そこにはいつも御手洗さんの家族がいて、特にさとみちゃんとはとても、身近な存在だったんです。学校から帰ってくると、2階の支局に「ただいま」と入って来る。そのままソファーに寝転がって本を読んだり、テレビを見てたり、父親の御手洗さん

に怒られながらも、ニコニコ笑ってる、そういう日常だったんです。だから、一線のジャーナリストとしての感覚はほぼなくて、タウン誌の編集者になったような気分でした。



【事件のはじまり】

それが、2004年の6月1日、一本の電話が多くの人の人生を変えてしまいました。「大久保小学校で子供がけがをしたみたいですよ。救急車で運ばれたそうです」新人記者から、電話がかかってきました。その時取材に出ている僕は、慌てて支局へと。戻る最中に、またその記者から電話がかかってきて、「女の子死んだみたいです」って、絶句ですよ。それまで殺人事件の取材さえまともにした

ことがない。これはまずいことになったと思って、支局に戻ると御手洗さんがいないんですね。

そしたら、御手洗さんから電話がかかってきて「さとみが死んだ」って、抑揚もなくて、淡々と一言でした。しばらくして、御手洗さんが支局に戻ってきて開口一番、「多分事件だわ。会社と連絡して」そう言い残し、御手洗さんは警察に行ってしまった。

その背中では忘れられないですね。御手洗さんに次に会ったのは、当日の夜、午後9時のNHKニュースでした。硬い顔をして記者会見をしてました。それから半年間、御手洗さんは職場に戻ってきませんでした。

その日から夕刊朝刊の一面、社会面で記事を毎日書きまくる日々が始まりました。この事件が起きる前日までは、御手洗さんと僕は、上司と部下の関係でした。家族のように御手洗さんに扱ってもらっていた。なのに、僕は御手洗さんを取材対象者にして、記事を書く側に回ったんですね。人でなしに成り下がったなって思いました。そういう気持ちを感じた先輩記者に「いい加減報道でさとみちゃんを二度殺すわけにはいかんやぞ。」

お前が正確な記事を書け」そう言われたんです。

事件から約100日ほど、少年審判が終わるまで1日も僕は休みませんでした。休んだら、もう元に戻れないと思ってたんだと思います。

事件は少女が施設に送致され、それで司法手続きは終わりです。でも、自分の中ではわだかまりが残るモヤモヤする。加害少女の側を取材しても、事件から2年後には御手洗さんにも話を聞いているのに、自分の中でモヤモヤが解消しないんですよ。

事件から取材を続けていて、ただ一人だけ取材しない存在がいた。それは、中学3年生、当時14歳のさとみちゃんのお兄さんでした。時間が経つにつれ、彼に話を聞かなければと思えてきたんです。そして、このお兄さんが20歳になったら話を聞こうと、自分の中でルールを決めました。

【事件から6年後の取材】

事件から6年後「取材をしたい、話を聞きたい」って彼に打診したら、二つ返事で「いいですよ」って来たんですね、それで「なんで取材に応じてくれ

たの」って聞いたたら「僕に話を聞きに来てくれたのは、川名さんが初めてです。誰も僕の声に耳を傾けてくれなかった」と。事件からこの日まで彼に目を向ける人がいなかったんです。彼は事件前にさともちゃんから加害者とのトラブルについて相談されていたけど、その内容を父親である御手洗さんには伝えられなかった。そしたら、こんな事件が起きちゃった。

それを誰にも話せなかった。当時、父親である御手洗さんは、会見に出たり、手記を発表したりと、世間的にはしっかりした対応をしていたわけです。でも、息子から見たら違っていて、一人の時は目の焦点が合ってなかった。親父は死んじゃうんじゃないかと、その時に彼は「自分が泣いたらダメだと思った」って言うんですね。自分まで迷惑かけちゃダメだと思って、感情に蓋をします。

そして彼は中学を卒業して、御手洗さんが移動するのに合わせて、福岡の高校に入学します。親である御手洗さんは佐世保から離れることで、職場復帰ができ、日常を回復していく。一方で、子供の方が限界に達する。

「バケツの水が全部ひっくり返った」というのが彼の言葉です。福岡の高校に入学はしたものの、半年で高校を中退せざるを得なかった。なんとなく犯罪被害者ってとんでもない被害があると、家族は結束すると僕は思ったけれど、逆に崩壊する家族って、実は多い。それが現実なんだと思います。



彼が20歳になった時に、会いに行った僕は、新聞記者なわけです。相手が話をしてくれるとなれば、踏み込むのが商売で、怖くもあるんですけど、聞いたという気持ちもあった。それが、彼にとっては良かったみたいで、話したことについて突っ込んでくれれば、自分がアウトプットできるって言うんですね。

一度話し出すと、ダムが決壊するように、話すことが止まらないう。一週間後ぐらいに会いに行くと、また話が延々と続くことが繰り返されました。聞いたことをICレコーダーに取って、それを僕がテープ起こしをして、彼が読む。ああ自分はこんなことを考えていたんだって、整理がつくようになったって言うんですね。「加害少女についてどう思うの？」って聞いたら、彼は「普通に生きてほしい」って言ったんですね。

「あの子を憎んでも仕方がない。今までのことを断ち切った前に進みたいという思いが僕にはある。一回謝ってほしい。結局僕はその子と同じ社会で生きてほしいと思っっていますから」と、さらに「彼女には普通に生きてほしい。それが結局僕の救いになる」って言っているんですね。「もし彼女が謝罪に来るのなら、会うのが怖いという感情は僕にはない。僕も相手も同等な関係で、きちんと会うべきだと思っ」ここまで言われると、すっげえなって思っちゃったんですよね。彼は加害少女に対して、謝るならいつでもおいでってことを言ってるわけですね。

僕はそれを聞いて、本当にそう思ってるのって何度も聞き返したんです。彼はそれが自分にとって前に進むためになるからと。これはすごいなと思っ、本にしました。

【犯罪被害者と隣人】

犯罪被害者と隣人というテーマになってますけど、自分はこの佐世保事件では、身内でもないし、被害者でもないわけです。多くの人の場合、事件の当事者になることはあまりないかもしれないけれど、自分の周りに当事者になっている人がいて、その隣人になる可能性はあると思っんですね。被害の当事者は、当事者同士で話し合うことはできないんですよね。家族であれば辛すぎて、その話はできない。他人であるから僕が聞けたんだと思っます。

隣人の存在、隣人でしか言えないこと、隣人だから言えることが、あるのかもしれない。犯罪あるいは大きな被害に遭った人と向かい合う、それはとても大切なことのような気がします。そんなことを、皆さんに伝えたくて講演しました。

北海道遊技事業協同組合

理事長 合田康広

～地域社会に貢献～

当組合は、身近で手軽な大衆娯楽業界として健全営業に努めるとともに、地球環境保全に配慮したCO₂削減や地域に根ざした社会貢献活動を推進しております。

事務局 〒060-0031 札幌市中央区北1条東2丁目5番地8
創成パークビル5F
TEL(011)222-3133 FAX(011)232-4608

WE LOVE THE EARTH

ワタクシタチハ チキュウラ タイセツニ シマス

Tea For Earth Loving People—Oomori-en—

チキュウラ アイスルヒトノ オチャーオオモリエン



札幌の日本茶専門店 大森園株式会社

自然の恵みと天然の味わいをやさしいおもてなしで皆さまへ。

〒064-0806 札幌市中央区南6条西23丁目4-20(YDIビル1階)

北海道被害者相談室だより

犯罪被害者等支援

公開講演会を終える

令和5年10月20日（金）18時より、かでるホールに於いて、毎日新聞記者川名壮志氏を講師にお招きして「犯罪被害者と隣人」～新聞記者である自分と被害者に近い自分～（長崎県佐世保市女子児童殺害事件）と題し、犯罪被害者等支援公開講演会を開催いたしました。（講演内容は6～7ページに掲載）

犯罪被害者週間における 相談室の取組み

「犯罪被害者等基本法」の制定に因み、11月25日から12月1日までを「犯罪被害者週間」とし、被害に遭われた人たちの状況を理解し、社会全体で支え、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目的として全国的に広報啓発活動を展開しています。

◆街頭キャンペーン

当相談室ではこれまで犯罪被害者週間に併せた街頭キャンペーンをJR札幌駅西コンコースで行ってきましたが、今年度は関係機

関（北海道・札幌市・北海道警察・札幌高等検察庁・札幌地方検察庁・札幌弁護士会犯罪被害者支援委員会・法テラス・北海道警友会・学生ボランティアの皆様）の協力をいただき、サッポロファクトリーアトリウムを会場として開催しました。



雪のちらつく11月24日（金）

13時30分より、アトリウムのステージで北海道警察音楽隊とカラーガード隊による演奏と演技が行われ、クリスマスマスツリーのもと、聴衆の皆様が楽しいひと時を過ごされました。また、犯罪被害に遭われた方の手記の朗

読では、被害者の思いに触れていただくことができました。観覧の皆様には相談員から被害者支援の啓発グッズも配られ、多くの方に犯罪被害者支援を呼びかけるキャンペーンを行うことができました。

『被害者支援活動員 候補者養成講座』開講

犯罪被害に遭われた被害者のお気持ちや状況、様々な問題を理解し、今後の被害者支援体制を維持するため「被害者支援活動員候補者養成講座」を実施しました。

◆被害者支援活動員補助者の研修
昨年度、右記の養成講座を受講して合格し、「被害者支援活動員補助者」に指定された方々が、今年度は被害者相談員継続研修への参加や、裁判傍聴を行うなど、被害者支援について学んでいます。

全国被害者支援ネットワーク 全国研修・功労者表彰

令和5年10月15日・16日、東京都港区の機械振興会館に於いて「秋期全国研修会」が開催され、当相談室から6名が参加しました。

16日の全体会では犯罪被害者支援活動に尽力し、特に顕著な功労があったと認められる犯罪被害相談員、犯罪被害者直接支援員及びその他の支援員に授与される「栄誉章」の表彰式がありました。

当相談室は、昨年度の1名の受賞に続き、今年度は駒木優子、鈴木康子、高山一枝の相談員3名が受賞し、表彰状とメダルが授与されました。



北海道被害者相談室
北海道犯罪被害者等総合相談窓口
電話相談（面接は要予約）
月～金曜 10：00～16：00
011-232-8740
FAX相談 011-211-8151
メール相談
<http://www.counseling.or.jp>

p. 9より

株式会社 ブンテン
特別養護老人ホーム 萌寿園
有限会社 北修
株式会社 ホクタン
株式会社 北斗
有限会社 ホシペイント販売
北海道電建株式会社
学校法人 北海道科学大学
（HUSサポート株式会社）
北海道警察
株式会社 北海道新聞 若林販売所
北海道ハートバス 厚別営業所
堀商店

有限会社 前田商店
前本商事株式会社
松前温泉休養センター
松前町民総合センター
松前町立松前病院
有限会社 丸二永光水産
道の駅 あっさぶグリーンプラザ227
道の駅 いわないガイドセンターたら丸館
道の駅 うとろシリエトク
道の駅 上ノ国もんじゅ
道の駅 北前船松前
道の駅 しりうち・知内町物産館
道の駅 パパスランドさつつる

道の駅 羊のまち侍・しべつ
道の駅 まるせつ「木芸館」
道の駅 みそぎの郷さこない
株式会社 南大通ビル
道の駅 ルート229 元和台
室蘭総合自動車学校
室蘭中央自動車学園
一般財団法人 めまんべつ産業開発公社
もろた設備
山崎石油株式会社
株式会社 余市自動車工業
リカーショップ小野

ご支援ありがとうございます

令和4年10月～令和5年9月
五十音順・敬称略

賛助会員の皆様

伊藤組土建株式会社
岩倉建設株式会社
税理士法人 岩城会計事務所
岩田地崎建設株式会社
一般社団法人 江別医師会
学校法人大原学園 大原法律公務員専門学校
大森園株式会社
開原寺 長谷川 瑞学
株式会社 華連警備保障
環境エンジニアリング株式会社
有限会社 クロスパット
こぶし建設株式会社
三共舗道株式会社
サンコー事務機株式会社
三和工業株式会社

瑞玄寺 伊藤 美妙
株式会社 砂子組 札幌本店
医療法人社団 桑園むねやす眼科
有限会社 大栄シーリング
大成建設株式会社 札幌支店
株式会社 田中組
株式会社 玉川組
医療法人資生会 千歳病院
道路工業株式会社
苫小牧信用金庫
TOMASEIホールディングス株式会社
株式会社 中山組
中山ミシン商事株式会社
萩原建設工業株式会社
橋本靖弘税理士事務所

一三北路株式会社
不二建設株式会社
北央道路工業株式会社
北陽警備保障株式会社
一般社団法人 北海道警備業協会
一般社団法人 北海道警備業協会室蘭支部
一般社団法人 北海道警友会
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
ペンディング・リテール営業本部
北海道ライフサポートセンター
馬淵建設株式会社
円山・参道前法律事務所
宮坂建設工業株式会社
株式会社 吉本組
その他個人会員 16名

寄付金を頂いた皆様

厚別警察署 (募金)
岩見沢警察署
有限会社 印名堂
上山試錐工業株式会社
札幌警察官 友の会
医療法人資生会 千歳病院 (募金)
滝川警察署 (募金)

手稲警察署 (募金)
豊平警察署 (募金)
北海道警察 警衛警備対策室 (募金)
北海道警察 警務課親睦会
北海道警察 初任科第69期
北海道警察本部 (募金)
北海道警察本部 地域課

一般社団法人 北海道警友会
一般財団法人 北海道信用金庫ひまわり財団
北海道遊技事業協同組合
株式会社 マテック
南警察署 (募金)
室蘭警察署 (募金)
その他個人 20名

寄付型自動販売機対応メーカー等

アサヒ飲料株式会社 北海道支社
株式会社 アベックス
株式会社 伊藤園
サントリービバレッジソリューション株式会社

ガイドードリンク株式会社
ネオス株式会社
ポッカサッポロ北海道株式会社
北海道キリンビバレッジ株式会社

北海道コカ・コーラボトリング株式会社
北海道ペンディング株式会社

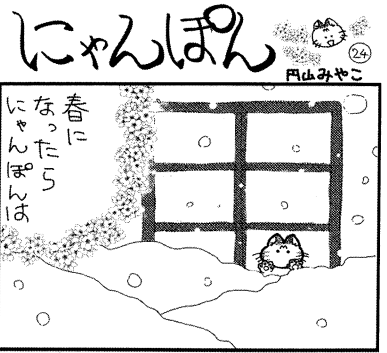
寄付型自動販売機設置者の皆様

旭川商工会議所
旭川アサノコンクリート株式会社
株式会社 芦田建設
厚岸漁業協同組合製氷冷凍部
有限会社 網走原生牧場観光センター
ALSOK北海道株式会社
生田原温泉ホテルノースキング
有限会社 稲村商会
今井自転車店
岩田地崎建設株式会社
植村土建株式会社
歌志内市立病院
美しが丘自動車学校
駅前ホテルパルテ釧路
枝幸町総合体育館
遠軽自動車学校
沿岸バス株式会社
株式会社 オートサービスヤマグチ
オホーツク自動車学校
オホーツク紋別空港
株式会社 カーサービス釧路愛国店
株式会社 菅野組
北野靴店
株式会社 久上工藤商店
釧路市交流プラザさいわい
株式会社 釧路自動車専門教習所
株式会社 釧路スイミングクラブ
株式会社 工藤電機
株式会社 恵新自動車学園
株式会社 交通学園紋別自動車学校
興北建設株式会社
有限会社 コープはまなか本店

株式会社 小林組
有限会社 小林自動車整備工場
斉藤井出建設株式会社
佐々木和治方
医療法人社団恵愛会 佐々木病院
学校法人滋慶学園 札幌看護医療専門学校
札幌学院大学 新札幌キャンパス
有限会社 佐藤重工
ザ・ベジタブルショップ21
佐呂間トラック株式会社
沢口産業株式会社
株式会社 三共後藤建設
静内総合自動車学校
士別軌道株式会社
シャワーアイランド光紀
植栄興業株式会社
知床第一ホテル
進栄ロックサービス株式会社 本店
有限会社 真貝林工
株式会社 新札幌自動車学園
真マイカー
砂川市総合体育館
砂川自動車学校
有限会社 誠和運輸
桑園自動車学校
そば処福住総本店
株式会社 第一会館
一般財団法人 滝川市スポーツ協会
田海商店
有限会社 谷口商事
田中物産店
株式会社 手塚組 高江事務所

地産地消の店チコリ
株式会社 中央バス自動車学校
道南バス株式会社
株式会社 道北自動車学校
株式会社 当麻振興公社
道路工業株式会社
とままえ温泉ふわっと
巴産業株式会社
有限会社 トライマート
鳥山電気工事株式会社
株式会社 中標津町自動車学校
中標津商工会
株式会社 中山組
株式会社 長久保建設
株式会社 新国工業
日東建設株式会社
ネッツトヨタ北見株式会社
株式会社 根室相互自動車学校
株式会社 野口商店
野付牛自動車学校
能登谷ストアー
登別グランドホテル
株式会社のむら葬祭音更町民畜場
パーラーヤマト雄武店
株式会社 花木運送
歯舞漁業協同組合
はぼろ温泉サンセットプラザ
ハヤサカ自動車工業株式会社
広瀬水産株式会社
福島水産加工協同組合
不二建設株式会社
株式会社 古館石油

p. 8へ



カウンセリングに感謝

苦小牧家庭生活カウンセリング協会
共同代表 堤川 由美子

カウンセリングという言葉に出会い、学んでから四半世紀、地域のカウンセリング協会に関わることで色々な人との出会いに感謝です。自分を知る、相手を知るといふ過程でロールモデルのような人や、片や反面教師のような人もいれば私の周りには人生の見本帳。

会員が減り少ない中で、水・金、週2回の電話相談や、会員交流の場を設けて毎週木曜日に事務所を開けてくれる方々に頭が下がります。

自分が何に悩んでいるかもわからず、ただ生きていくことの難しさを悶々と感じ、心が疲弊していく人も多い中、向き合っ

ているカウンセラーのマインド溢れる、スキルの高さは学び続ける大切さを感じます。

カウンセリングにかかわらず『学んだことを日常に活かす』ことを心がけていますが、スキルが乏しく、マインドも溢れるほどあるわけでもない私は、日々反省することばかりです。それなのにこの立場で支えられているのは、仲間と会員の皆様のおかげです。

令和6年、苦小牧家庭生活カウンセリング協会は創立30周年を迎えます。記念行事として7月20日、作家桜木紫乃さんをお招きして市民公開講演会を予定しております。桜木さん目線の人との関わりを、カウンセリングにこだわらず市民の皆さんに聞いていただけたらと思います。

お悔み申し上げます

◆当センター前理事長

善養寺 圭子氏 享年79歳
令和5年7月21日 逝去

◆当センター講師

(日本精神衛生学会元理事長)
高塚 雄介氏 享年78歳
令和5年9月24日 逝去

書き損じ年賀状ハガキ 未使用切手等のご提供のお願い

眠っているハガキや切手は
ありませんか

ご提供いただきましたハガキ・切手は当法人の事業や様々な活動内で使用させていただきます。ご協力いただける方は、センターまで郵送またはご持参くださいますようお願いいたします。

【公開講演会のご案内】

- | | | | |
|-----|----------------------------------|-----|-----------------------------------|
| ◆演題 | こころの健康から見た
“ひきこもり” | ◆演題 | ロジャーズを再考し今に生かす
～ほんものの深い傾聴を学び直す |
| ◆講師 | 阿部 幸弘氏
(こころのリカバリー総合支援センター 所長) | ◆講師 | 諸富 祥彦氏
(明治大学文学部 教授) |
| ◆日時 | 令和6年3月26日(火)
18:00~19:30 | ◆日時 | 令和6年7月9日(火)
18:30~20:00 |
| ◆会場 | 千歳市民文化センター 中ホール | ◆会場 | かでの アスピックホール |

お申込み・お問合せはカウンセリングセンターへ ☎ 011 (251) 6408

令和6年度 3級カウンセリング研修講座 5月開講予定

受講生募集

～生涯学習の一環として

カウンセリング学を学んでみませんか～

お申込み・お問合せはカウンセリングセンターへ

☎ 011 (251) 6408

編集後記

当センターは今年創立60周年を迎えます。7月に記念講演会、秋には記念誌発行を企画していきますのでどうぞお楽しみに。先輩カウンセラーが守ってきたこの場所を今の世の中でどのように活かしていけるかは、難しいけれど楽しい課題です。今年もよろしく願います。